

平成28年 山武市教育委員会第8回定例会 会議録

日 時 平成28年8月17日（水）午後2時00分

場 所 山武市役所 新館3階 第4会議室

招 集 者 山武市教育委員会 教育長 嘉瀬尚男

議 題 議決事項

議案第1号 市議会定例会提出議案（平成28年度山武市一般会計補正予算（第3号））に同意することについて

議案第2号 山武市立学校職員の人事評価に係る苦情の申出及び取扱いに関する要綱の制定について

議案第3号 平成28年度（平成27年度実施事業分）教育委員会事務の点検・評価について

協議事項

協議第1号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について

協議第2号 山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本計画について

報告事項

報告第1号 千葉県教育功労者表彰の推薦について

報告第2号 通学路合同点検について

報告第3号 いじめ・体罰実態調査（1学期）の結果について

報告第4号 山武市中学生軟式野球国際親善交流会について

報告第5号 山武市青少年スリランカ派遣団報告について

報告第6号 海外研修生受入事業について

報告第7号 第10回山武市民体育祭について

報告第8号 第11回さんむロードレース大会について

報告第9号 トップアスリートスポーツ教室について

報告第10号 平成28年度山武市こども園・幼稚園職員等研修事業について

報告第11号 行事の共催・後援について

報告第12号 9月の行事予定について

出席委員	教育長	嘉瀬 尚男
	教育長職務代理者	小野崎 一男
	委員	五木田 孝義
	委員	高柳 善江
	委員	今関 百合

欠席委員 なし

出席した職員の職及び氏名

教育部長	小川 雅弘
教育総務課長	伊藤 かほる
学校教育課長	井上 博文
学校教育課指導室長	織本 富生
生涯学習課長	越川 正
スポーツ振興課長	所田 吉泰
松尾公民館長	鈴木 昌子
子育て支援課長	秋葉 絹
子育て支援課主幹	有井 實

事務局

教育総務課副主幹	小関 正徳
教育総務課総務企画係主査補	鈴木 慎太郎

◎開 会

○嘉瀬教育長が挨拶し、午後2時開会を宣する。

◎日程第1 会議録署名人の指名

○嘉瀬教育長が議長となり、高柳委員を指名する。

◎日程第2 会議録の承認

嘉瀬教育長 平成28年教育委員会第7回定例会の会議録について、事前に配布してありますが、ご覧いただいておりますでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

嘉瀬教育長 異議がないようなので、平成28年教育委員会第7回定例会の会議録は承認いたします。

◎日程第3 教育長報告

嘉瀬教育長 それでは教育長報告を行います。

資料の1ページをご覧ください。7月の21日から8月17日までの内容でございます。日付の順に主だったところの説明をまいります。

7月21日、山武郡市小学校体操競技会が大網白里市の増穂北小学校で開催をされ、山武市からも多くの選手が出場していましたが、こちらに出席してまいりました。その後、教育長訪問ということで、大富小学校で、校長、教頭との面談をしております。

22日、9月の補正予算についての部内ヒアリングがございました。今回の補正予算は、学事係と松尾公民館から出ております。

23日、山武郡市PTA指導者地区別研究集会在開催されまして、そちらに出席しました。同日、母と女性教職員の会が開催されましたが、そちらは欠席し、教育部長が代理で出席しております。

24日ですが、スリランカ派遣団の出発式がございました。午前7時に10名が元気に出発したところでございます。この後、帰国式のご案内もありますが、全員無事で帰ってきております。

25日、小中学校ダンスプロジェクト完成発表会ということで、初級用、中級用のダンスが完成しまして、これを見させていただきました。これにつきましては、8月2日から各学校の先生方にも周知をしているところでございます。また、山武市10周年記念式典の中で、できれば披露してもらいたいという話をいただいております。ただ、時間があまりないので、どういう形でできるか、

今、検討しているところです。

26日、平成27年度施策基本事業の評価成果報告が公室で行われました。また、ブラジルのサッカーチームが表敬訪問ということで、ブラジルのU-15のチーム、オペラリオというところですが、市長室で懇談をいたしました。大変落ち着いて、私語もなく、大変すばらしい子どもたちであったと思います。

27日、今、表敬訪問のお話をしました、ブラジルのサッカーチームとの国際親善大会が行われました。城西国際大学のグラウンドを利用しております。25日から31日まで来日していたところですが、これにつきましては後ほど、報告がございます。開会式、それから試合の途中までを観戦させていただきましたが、本場のブラジルの選手、大変技術も高く、圧勝だったようでございます。

その後、林聰之先生の叙勲伝達ということで、高齢者叙勲を受けました林先生に、教育委員会のほうにおいでいただきまして、伝達をいたしました。

それから同日ですが、スタディランチ at 松尾ハイスクール in 2016ということで、松尾高校の魅力化を応援している中で、スタディランチというものが開催され、そちらに出席して、様子を見てきたところです。

29日、規模適正化・適正配置基本計画（案）に関する説明会が、まつおこども園、そして若杉保育園で開催されました。子どものことを第一に考えて進めてほしいというような意見をいただいたところです。

30日、山武西大木夏祭り2016ということで、山武西小学校のグラウンドで開催されました。ここに山武南中学校、日向幼稚園、山武西小学校の子どもたちの発表の場を設けていただいております。そちらの発表を見させていただきました。また、JICAの、スリランカから来ている派遣員の方たちがお祭りに出席され、浴衣を着て、日本の文化を満喫させていただいたところでございます。

8月1日、教頭・教務研修会が開催されました。これには、東上総教育事務所の市東次長が講師として来ていただきまして、研修会が行われたところです。その後、スリランカ派遣団の帰国式が行われました。予定よりも早く着いたということで、研修会は途中で退席させていただいたのですが、全員が無事に帰国をしたところでございます。また、これについても詳しい報告が後ほどありますが、子どもたちの発表が大変すばらしいもので、感動を

覚え、そして涙を流すような子どもたちもいたところですよ。すばらしい研修だったと思います。

2日は庁議がございました。

3日、（仮称）成東駅前観光交流センター2階の利用についてということで、協議が行われました。2階に学習スペースを設けるということで、その活用方法等についてです。

4日、海外少年スポーツチーム交流事業、これは台湾から野球チームが来まして、成東総合公園で交流試合を行っています。これについても後ほど報告があります。

夏休み親子ふれあい工作作品選考会、山武市の社会福祉協議会山武連絡所で行われまして、子どもたちの、親子でつくった工作の選考を行いました。今年は巣箱がテーマで、いろいろな形の巣箱が出ておりました。

それから、池田氏来庁とありますのは、蓮沼地域から署名が提出されまして、市長と公室でお受け取りをしたところでございます。

6日、1,000kmリレーふれあいランニング、これは去年に引き続いて2回目の開催でございます。2020年東京オリンピック・パラリンピックの聖火のコースにしてもらいたいということでの動きでございます。ふれあいランニング、大勢の方に来ていただいて、大変盛り上がりました。

8日、公の施設指定管理者選定委員会ということで、今年度、更新が5カ所、新規が2カ所ということでございました。今回は最初の会議ということで、施設ならびに内容の確認をしたところでございます。指定管理の予定としては10月ごろにそれぞれのプレゼンを受けるということになっております。

9日は第8回定例会事前打ち合わせということで、本日の議案についての確認をいたしました。

10日、教育委員会協議会。そして17日、本日ですが、この定例会でございます。

教育長報告は以上でございます。これについて何か質問等ありますでしょうか。

小野崎委員

ありません。

嘉瀬教育長

特にないようなので進めさせていただきます。

嘉瀬教育長

それでは、議事に入ります。

本日の議題ですが議案第1号「市議会定例会提出議案（平成28年度山武市一般会計補正予算（第3号））に同意することについて」は、議会提出前であること、協議第1号「要保護及び準要保護児童生徒の認定について」は、氏名等の内容が含まれており、公開することにより個人のプライバシーを侵害する恐れがあること、報告第1号「千葉県教育功労者表彰の推薦について」は、氏名等の内容が含まれており、公開することによって個人のプライバシーを侵害するおそれがあるため、公開に適さない事項であることから、教育委員会会議規則第12条の規定により秘密会としたいのですがいかがでしょうか。

賛成の方は挙手をお願いいたします。

（全員挙手）

嘉瀬教育長

挙手全員。よって議案第1号、協議第1号、報告第1号は秘密会とします。

なお、本日は、傍聴人の方がいらっしゃいますので、先に公開案件を審議した後、秘密会として非公開案件の審議に移りたいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

嘉瀬教育長

異議がないようなので、公開案件を先に審議することとし、その後、非公開案件を秘密会として審議いたします。

◎日程第4 議決事項

○議案第2号

嘉瀬教育長

それでは、公開案件であります日程第4、議決事項から、議案第2号「山武市立学校職員の人事評価に係る苦情の申出及び取扱いに関する要綱の制定について」を議題とします。学校教育課長から説明願います。

学校教育課長

それでは、議案第2号「山武市立学校職員の人事評価に係る苦情の申出及び取扱いに関する要綱の制定について」、提案をいたします。要綱の5ページをご覧ください。提案理由でございますが、千葉縣市町村学校職員の人事評価に関する規則、平成23年千葉県教育委員会規則第2号の改正に伴い、平成28年4月1日付教

職第42号により、千葉県教育委員会教育長から各市町村教育委員会教育長宛てに諸規定の整備について、通知があり、本教育委員会においても要綱を制定するものでございます。

なお、要綱の案につきましては、次の6ページから8ページにございます。また、9ページから12ページにあります別記様式1から4については、前回7月20日に行われました第7回定例会の協議第2号でご協議いただき、了承をいただいている内容と同じでございますので、よろしく願いいたします。

以上、よろしく願いいたします。

嘉瀬教育長 ただ今、説明がありましたが、これについて、何かございますか。いかがですか。

小野崎委員 ありません。

嘉瀬教育長 特にないようですので、お諮りいたします。本議案に賛成する委員の挙手をお願いします。

(全員挙手)

嘉瀬教育長 挙手全員。よって本議案は原案のとおり可決します。

○議案第3号

嘉瀬教育長 議案第3号「平成28年度（平成27年度実施事業分）教育委員会事務の点検・評価について」を議題とします。教育総務課長から説明願います。

教育総務課長 議案第3号「平成28年度（平成27年度実施事業分）教育委員会事務の点検・評価について」、ご説明を申し上げます。

資料の13ページをご覧ください。本案件は、平成28年度（平成27年度実施事業分）教育委員会事務の点検・評価報告書を決定しようとするものでございます。別冊の報告書案につきましては、教育委員会に所属の各部署が山武市教育振興基本計画に基づき、昨年度実施いたしました8重点施策、20推進施策、50事業におよぶ活動の取り組み内容および結果につきまして、7月7日に学識経験者の意見をいただき、7月20日の教育委員会協議会において、教育委員の皆様にご覧いただき、点検・評価をしていただいたものを取りまとめたものでございます。

事務局といたしましては、今回の点検・評価の結果を生かし、各事務事業の一層の改善に取り組んでまいりたいと考えております。なお、点検・評価に関する報告書につきましては、本日議決いただきますと、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づきまして、市議会に提出させていただくとともに、ホームページに掲載し、市民へ公表する予定でございます。

以上、ご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

嘉瀬教育長

はい、ありがとうございました。これにつきまして、この報告書は事前に配布されていたと思います。ご覧になっていただいて、何かございましたでしょうか。

小野崎委員

それぞれ評価のところ、学識経験者の意見の中で、横ばいではなくて、順調でもいいんじゃないかという意見もあったところがありました。何点かあったと思いますが、それは修正をしましたか。しませんでしたか。そのまま意見としては受けておいて、評価はそのままということですか。

教育総務課長

そのとおりです。

小野崎委員

はい、わかりました。

嘉瀬教育長

他に何かありますか。これにつきましては、7月20日の教育委員会協議会で、皆さんに評価をいただいた内容をまとめたものでございますので、改めて言うことはないと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、お諮りいたします。本議案に賛成する委員の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

嘉瀬教育長

挙手全員。よって本議案は原案のとおり可決します。

◎日程第5 協議事項

○協議第2号

嘉瀬教育長

それでは、続いて協議事項に入ります。協議第2号「山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本計画について」を議題とします。教育総務課長から説明をお願いします。

教育総務課長

最初にですが、4月から7月にかけて実施いたしました山武市小中学校の規模適正化・適正配置基本計画案に関する説明会ですが、18小中学校、9園で842名の方々に参加していただきましたことをご報告させていただきます。委員の皆様、ありがとうございました。

それでは、本日配付資料になります。蓮沼の学校問題を考える会から、蓮沼中学校の統廃合に反対し、存続を要求する署名というものが、8月4日に提出されました。考える会からは、8名の方が来庁され、市長と教育長が対応してございます。署名の趣旨は、蓮沼中学校は、小規模校でも、生徒一人一人に目が行き届き、手厚い指導が受けられる教育環境で、次の世代にも子育て環境が整った蓮沼地域で育てたい、そのために、蓮沼中学校の存続を要求するという内容でございます。

市長は統合についての理解を求めましたが、考える会は、蓮沼中の存続を求めました。反対署名ですが、1,126名分で、市内が1,070名、市外が56名となります。市内のうち、蓮沼地域は900名でした。また、8月9日には、考える会の代表の方から、蓮沼中学校の統廃合反対に関する要望書が提出されました。

要望内容ですが、1つ目、平成36年から統廃合の話し合いを進めてほしい。2つ目、近隣、市外、学区外からの寛容な受け入れができるようにしてほしい。3つ目、モデル校となるような、存続できる学校の検討でした。山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本計画案について、2月に行った意見を聴く会や、4月から行っている学校や、園での説明会、今回の署名や要望書等を踏まえて、基本計画案の今後について、協議を求めるものでございます。

よろしく願いいたします。

嘉瀬教育長

はい。今、教育総務課長から説明がございました。委員の皆様からご意見をいただきたいと思います。規模適正化・適正配置基本計画案の全体のスケジュールの中で、説明会の意見を踏まえて、8月ごろには教育委員会での意見を集約したいということをおっしゃったので、改めて、このような要望等が出されたものと思っております。そういったことを考慮しまして、協議を進めていきたいと思っております。委員の皆様、いかがでしょうか。

五木田委員

蓮沼中のその要望書について、もう少し具体的に。それと、教

育総務課にメールか、あるいは電話等が、蓮沼中に関する件であったか、どんな内容であったか、そこら辺をもう一度具体的に教えていただけますか。

教育総務課長

まず要望書ですが、先ほどの要望、3つの件です。3つについて、強い要望があったわけですが、そのうちのまず1つ目、蓮沼には地域特性の観光資源、観光施設、観光資源、海がある、この特質をもうちょっと、教育に活かしたほうがいいということで、蓮沼の観光資源を活かして、人口を増やしていきたい。まず人口増加策を行った上で、それから統廃合の話し合いをしていただきたい。まず人口を増やすためにも、どうしても中学校が必要であると、強い要望がございました。以上です。

あと、電話等の問い合わせですが、それはメールもございました。その中では、反対されている方、もう少し先送りにしてほしいとか、特色ある教育の方法を考えてもらえないかというようなメールをいただいております。

五木田委員

わかりました。

嘉瀬教育長

今、いろいろ説明がございましたが、ほかに何かご意見、ございますか。

高柳委員

要望書に、平成36年から統廃合の話し合いを進めたいと出ているんですが、それについては何か説明がありましたか。

教育総務課長

そちらですが、今、私のほうから説明をしたように、地域のコミュニティということもございますので、そちらをどんどん進めていきたい、もっと人口をふやしていきたい、そのために中学校がなくなってしまうと、人が集まらない、そういうことで、どうしても中学校が必要であるということで、強い要望がございました。

高柳委員

平成36年ということは。

教育総務課長

平成36年というのは、人口増加策をしていく中では、どうしても人口というのはすぐ増えないので、そこは様子を見ていきたいということだと思います。

高柳委員 そのようなことを考えると、とても統廃合問題というのは難しいことだと、特に蓮沼の場合は感じております。

嘉瀬教育長 ほかに、これについてご意見はよろしいでしょうか。

今関委員 今、高柳委員がおっしゃったように、このように署名とか要望書がたくさん出ていると、すぐに蓮沼中学校と松尾中学校の統廃合は無理なのではないかという気がするんですけども、もう少し地域の方の話を聞いたりとかという時間が必要だと思うんですけども、いかがですか。

嘉瀬教育長 今、蓮沼中学校、松尾中学校の統合計画については、まだまだ蓮沼地域での理解を得ることが難しい状況だということですね。時間が必要ではないかということで、ご意見をいただきましたが、ほかにはまだありませんか。

小野崎委員 当初からリーフレットの最後のページに、この計画案については、保護者の意見や地域の意見を踏まえて、理解いただいたところからということを進めると記載をされています。そういう記載が、私もずっと、いろいろなところでは話したつもりですが、そういうことからすると、蓮沼中学校の問題、それから成東中学校の問題も同様にそのような内容に含まれてしまうのかなと思いますので、それこそ保護者なり、地域の方々との理解を求める時間というのがもう少し必要ではないかと、私も思っております。

嘉瀬教育長 はい、ありがとうございます。

 どうでしょう。大富小学校でのアンケートについても説明いただけますか。

教育総務課長 大富小学校のPTAですけれども、そちらで保護者の方々を対象に、学校のあり方に関するアンケートというものを実施しております。その結果については現在精査中でございます。

嘉瀬教育長 アンケートについてはまだ提出されたばかりで精査中ということですので、また後ほど皆さんには見ていただくようにしていただきたいと思います。ほかにご意見ございますか。

今関委員

大富地区の方が参加した成東中学校の説明会のときにも、この状況のままでは部活動のことなどもあって、統合もやむなしという意見もあったんですけれども、統合した、例えば中学校が一緒になった後に通学の問題は大丈夫なのかとか、津波は大丈夫なのかとか、そういうことを心配していた保護者の方の意見があったというのも大事にしなければと思いました。

嘉瀬教育長

そうですね、いろんな意見を。

今、成東中学校の話も出てきていますが、ほかに関連して何かございますか。

高柳委員

成東中学校の場合は、統廃合について、考えも出ていますけれども、生徒の数というのはしばらく大丈夫で、複数学級あるようです。ただ、校舎の老朽化の問題があります。その部分で保護者の方ともう少し話をする必要がありそうなので、もう少し時間をかけていったほうがいいのではと思います。

嘉瀬教育長

そうですね。成東中学校に関しては、少子化の他に老朽化という問題が大きく影響していますので、その辺も含めて理解を得ながら進めるということは必要かもしれませんね。

他に何かご意見ございますか。

小野崎委員

ただ、地域を回ってみて、地域的には早く進めてほしいという山武の地域での意見もあったように私は記憶しています。あり方委員会も、この間の会議の中でも、山武地域の方々から、クラブ活動で、早く山武南中と山武中が一緒になったほうが、クラブ活動がより活発化するという話で、そこのところは早く進めてほしいという意見もあったように思います。地域的に進めてほしいという計画案の中であった中で、進めてほしいという意見と、それからまだ時間を要するところがあるのかという感じを受けております。

嘉瀬教育長

確かに地域による温度差というのは非常にあるところなので、この計画、全体計画として出していますが、これから具体的にいくには、ある程度個別に考えていかなければならないような気がします。どうでしょう、そういったところも踏まえて、ご意見ございますか。

五木田委員

山武市学校のあり方検討委員会で4地域からそれぞれの代表、区長さんたちも出ているし、校長会などの役員も出ていますし、様々な関係機関から出ている委員さんですので、山武市学校のあり方検討委員会の意見をベースというか、大事にしながらやっていかないと、この問題は宙ぶらりんになっちゃうんじゃないかと私は思っております。あり方検討委員会も相当な時間をかけて、今までやってきておりますので、どうかその辺りの考えもとり入れながら丁寧にやっていかなければならないだろうと思います。

嘉瀬教育長

今、五木田委員から、あり方検討委員会、これは確かに各代表が来た中での会議でございますので、その意見は十分に尊重しながら、やっていかなければならないと思っております。地域により、いろいろその計画案の修正が必要なところもあるということについて、その辺についてご意見があれば、何かあればお願いしたいと思っております。いかがでしょう。

小野崎委員

この間、山武市ではこういうふうに論議していますけれども、君津市でも、この規模適正化なり適正配置の話がされていて、ここも来年に向けて、進めていこうという案が出ていたようなことを、新聞記事で見ました。そのとき思ったのですが、山武市のあり方検討委員会でも、適正規模というのを一定基準持ちました。君津市でもそうでした。だけれども、特に君津市の場合でもそうですが、山間地の複式を持っているところは早目にしたいという意見がああときにもあったはずですが、構想の中で。山武市でも一定規模というのは小学校2クラス以上という、クラス替えができる2クラス以上というのを、一定程度の適正規模だというふうに、あり方検討委員会でまとめていただいたと私は思っています。

しかしながら、なかなかそこまではいかないもので、複式学級のところだけ早くしようというふうに最低限の進め方としてなったと思います。だから今回は豊岡小学校の問題がありますので、豊岡小学校地域は早目にしてあげてほしいと思います。

ただし、いろいろ具体的に今度実行に移す場合、仮校舎はどうしようとか、そういう問題もまだ、課題として残っているので、それは実施計画案のときに、もう少し地域の人にいろいろ意見を聞いてみて、どんな方法がスムーズな統合に移行できるのかというところは、もう少し協議したほうがいいのではないかと。それは実施計画のときの具体的な4つの委員会ができていますので、

その委員会の中で、また論議をしていただいたらいいのかとこのように思っています。

嘉瀬教育長

ありがとうございます。

高柳委員

子どもたちの健やかな生活、成長を願うというのは誰でも同じなのですけれども、その方法や考え方が違ってくるんだと思います。特に地域の特性等があって、なかなか提案の理解を得ることが難しいという地域や、すぐにやらなければいけないところとかがあります。計画案も急ぐところと、時間をかけて協議するところを分けて修正し進めていったらどうかと思っています。

嘉瀬教育長

ありがとうございます。そうしますと、基本計画案、これは基本的には教育委員会としては生かしながら、今おっしゃられたように、時間を要するところ、そういったところについては修正をある程度していきながらということになるんでしょうか。そういうことですけれども、特に蓮沼中学校については、既に単学級化しているところでして、教育環境、学校運営面ということを考えますと、市内でも統合については優先度が高い学校というふうに教育委員会としては考えているわけですが、その辺のところについては、いかがなものでしょうか。

五木田委員

皆さんご存じだろうと思いますけれども、実は私は蓮沼中学校の卒業生です。昭和36年度の。59人のクラスで、全校で450人。今、蓮沼中は70名弱ですよね。約6分の1に減りました。まさか、こういう席上で、わが母校の消滅か継続かを話すとは夢にも思っておりませんでした。子どもたちが少なくなったのは大変悲しいことでもあります。地域の活性化の大きな問題になるだろうと思います。

だけれども、心情的にはそういうことですけれども、子どもたちの、児童生徒の望ましい学習環境をつくってやるのは私たち大人の責任ではないか。例えば部活動をやりたくてもできない、選択の余地がない、それから人数が少なければどうしても社会性といえますか、人間と人間の触れ合う数が少ないですから、どうしても道德の価値観とか社会生活の問題は薄くなっていくんじゃないかなと危惧をしております。でも、こういう今まさに蓮沼地域の、蓮沼中学校のあり方をどうしようかという問題が出てきて、

ようやく、何と申しますか、関心の度合いが増してきたということ、これは大変私はうれしいことだと思っております。

ですから、時間をもう少しかけて、この問題を考えていかなければならない、特に蓮沼中学校の場合は、昔から昭和の大合併が昭和33年にありましたけれども、蓮沼はその合併をしないでずっと来て、平成18年まで来ておりますので、そういう蓮沼の歴史的な経緯が背景にありますので、どうかそこら辺は、皆さんで考えてやっていかなければならないだろうと私は思っております。

以上です。

嘉瀬教育長

ありがとうございます。そうですね、今、五木田委員から、学習環境をつくるのは大人の責任だという発言がありましたけれども、私たち教育委員会としては、そこを一番重点に置いていかなきゃいけないだろうというところはあると思います。教育委員会として、教育環境をまず重視した考え方というものと、地域のコミュニティを中心に考えている方々との間では、どうしても考え方の違いがありますので、なかなか簡単にその合意を得るというのは難しい状況になってきていると思います。ですので、もう少し、そういったところについては、さらに時間をかけながら、協議を続けていく必要があると感じているところではございますけれども、委員の皆さんはそういったことについて、どうでしょう。

今関委員

教育委員会が考える教育環境のベストと思うものと、地域の皆さんの考える教育環境のベストというものの違いも、説明会をしたときに感じたので、その辺の溝もどうにかしたいなどは。埋められないのかもしれないのですけども、これから未来のことを考えて教育委員会では、多い人数の中で切磋琢磨してという考えがあるということ伝えていけたらいいなと思いました。

嘉瀬教育長

ありがとうございます。確かにそうだと思います。

ほかの委員さんたちは、どうですか。

小野崎委員

さっき申し上げたように、早くしなくてはいけない地域と、それからもう少し時間をかける地域、時間をかける地域は、蓮沼に要望書があったけど、年限を区切ってしまうと難しいのかなと思うので、その時期については、考える必要があるのかなと思います。

ですから、蓮沼の問題とそれから成東の問題については、計画案の修正をしてもいいのかなど、さっき教育長が話しましたが、そんなことを思っております。

嘉瀬教育長

時期等については、さらに考えていくと。
この件については、高柳委員、どうですか。

高柳委員

今の世の中を考えると、生き抜いて一生幸せに暮らしていくというのは相当な生きる力を持たなければならないと日々感じているもので、それが可能な環境をなるべく作りたいたいという希望です。時間はかかるかもしれませんが、私の教育環境の願いです。

嘉瀬教育長

ありがとうございます。いろいろな意見を今、出させていただきました。今までのところを整理していくと、前期計画で5つの計画を出しているわけですが、①番、最初の松尾小と豊岡小学校、これは複式の解消をまず第一に優先ということですので、優先事項を高めると。また、日向小、山武西小、それから山武南中についても、特に反対の意見は出ていないし、時期的にも山武西小は複式が見込まれる時期が早いということもあるので、その辺については、今の基本計画案を生かしながらということでもよろしいでしょうか。

また蓮沼中と松尾中学校、それと成東中学校と成東東中学校、この2カ所については、もう少し時間をかけてということでも修正を加えるという形だったと、そういう意見が多かったと思いますが、そのような形で進めることでよろしいでしょうか。

五木田委員

結構です。

嘉瀬教育長

それでは、2つのところについては修正を加えるということですが、どのように修正をしていったらよいかということなのですが、この辺について、何かご意見があれば、出していきたいと思いますが、いかがでしょう。

五木田委員

今、すぐ時期をどうのこうのという問題は難しいのではないかと思いますので、山武市学校のあり方検討委員会とタイアップしながら、協議していただきたいと思います。あり方検討委員会の意見も尊重しながら。

嘉瀬教育長 今、五木田委員からありましたが、それについて、どうでしょうか。よろしいでしょうか。

小野崎委員 せっかく、あり方委員会で、少しメンバーも入れ替わっているし、今回の要望書も出ているので、それを踏まえて、あり方検討委員会にも意見を投げかけて、意見を聞いて進めていったらいいかなと私も思っています。

嘉瀬教育長 そうですね。今、あったように、あり方検討委員会が開催されていますので、そちらの意見ももう一度聞いて、あわせて検討していく必要があるんじゃないかと、私も同様に思います。今回の中では、蓮沼中と松尾中学校、それから成東中と成東東中学校については、もう少し時間をかけて協議をしていくというような、そういった修正を検討していくということで、さらに協議を続ける、そういうことを確認して協議をもう少し続けるというところでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

嘉瀬教育長 すぐに時期を出すというのは難しいという意見もありましたので、これについては、もう少し時間をかけた継続協議という形をとっていきたいと思いますが、それで委員の皆さん、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

嘉瀬教育長 それでは、反対に対する署名その他、いろいろな状況が出てきた中で、もう一度あり方検討委員会の意見も踏まえながら、継続してこの点については協議するというので、この協議第2号については、継続審議ということにいたしたいと思います。

◎日程第6 報告事項

○報告第2号

嘉瀬教育長 報告第2号「通学路合同点検について」学校教育課指導室長から、報告願います。

指導室長 それでは、報告第2号、通学路合同点検につきまして、報告をさせていただきます。

資料16ページからになります。7月29日に関係者10名による通

学路合同点検を実施いたしました。今回は、松尾、蓮沼地区を中心に、これまで継続ということで残っていたところを含め、県道10カ所、市道21カ所、計31カ所を点検いたしました。その結果と対応策をまとめたものが、16ページと17ページ。18ページ以降、地図、写真等につきましては、当日使った資料であります。

2カ所について、状況の報告をさせていただきます。県道の部分につきましては地図番号、折り込んである詳しい地図で、松尾小、松尾中、松尾駅が載っている部分、白黒の部分であります。19ページの部分です。この真ん中よりも下のところで、番号の10番のところになりますでしょうか。括弧で10、青い数字で10番のところですか。これが松尾駅入口交差点のところになります。この部分、横断が危険ということですが、信号機の時間の調整はできないという回答であります。もともと、コンビニがあった所に、横断歩道の端に街灯のような電柱があり、混乱の原因をつくっていると、その部分の撤去について、交渉をしていく予定であります。

もう1点、市道の部分につきましては、同じページで結構ですけども、今度は26番、27番ということで、今の松尾の交差点のちょっと右下の、松尾小学校、黄色く塗ってあるところの下になります。この部分ですが、松尾小学校校門から図書館近くの交差点にかけて。で、歩道がない、それから交差点に信号機もなく危険ということですが、残念ながら道路幅が狭い、それから踏切はJRに交渉してもなかなか広げることが難しい状況だと。それから交差点、図書館側の交差点ですが、踏切からの距離が近いということで、そこに信号機を設置するのは、逆に踏切に立ち往生する危険につながるという状況だということで、現状、なかなか変更するのは、今は難しい状況。この後、また11月に、関係者による進捗状況を確認する会議を行う予定でありますので、対応状況をそこで再確認することで考えております。

簡単であります。以上で報告を終わらせていただきます。

嘉瀬教育長

ありがとうございました。ただいまの報告について、何かご質問等ありますか。

小野崎委員

今の26番は、私もよく知っている所ですけども、何か自分が車を運転していても、あそこは危険のあるところで、だから、何かいい方法はないかな、JRのほうはわかるけれども、JRの下

側の道路が今、片側1車線ずつ、2車線になっているので。

指導室長 あの下のところを広くということですね。

小野崎委員 そうです。そちら側が優先になっていて、上りのところが止まれているんですけど、手押しか何かがあってもいいかなと思うけれども、下から上がってくる子どもたちのために。

指導室長 押しボタン式ということですね。

小野崎委員 押しボタン式でも4つあると、踏切をふさぐということもあるでしょうけど。

指導室長 つけるということで。

小野崎委員 2つでもつければ、少しは変わるのかなと思います。

今関委員 でも難しいですよ。どっちが優先なのかとか。

小野崎委員 そのこのところだけが何か、前から課題ですけれども、せっかく話し合いの俎上に乗っているの、何かできないかなと思っています。

指導室長 ありがとうございます。その件はまた、別の会議でも伝えていきたいと思います。

嘉瀬教育長 ただいまの報告でよろしいですか。

小野崎委員 引き続き、よろしくお願いいたします。

○報告第3号

嘉瀬教育長 報告第3号「いじめ・体罰実態調査（1学期）の結果について」学校教育課指導室長から、報告願います。

指導室長 報告第3号、いじめ・体罰実態調査（1学期）の結果ということで、26ページを開いていただければと思います。簡単にご説明をさせていただきます。

いじめの認知の学校数につきましては、認知された学校は小学校7校、中学校5校、計12校で、昨年度の数値を載せていなくて申しわけなかったんですが、昨年と比べ、3校の減少であります。

重大事態の発生件数はありません。ゼロであります。

3番、いじめの件数であります。小学校は報告が84、認知が52。昨年度と比べて見たところ、報告は約半分で、認知は約6割ということで減っているという状況でありました。

中学校、報告は43件、認知も43件。昨年度の比較では、残念ながら中学校はそれぞれ約2倍とふえている状況でありました。ということで、2学期以降につきましては、中学校を重点的に指導支援の手立てを考えていく必要があると感じております。

なお、小学校の報告件数と認知件数の違いという部分ですが、小学校につきましては、低学年も児童からも、報告の部分につきましては、担任が詳しく調査して、聞いたりしながらやっていると、単なるけんかでもめていたとか、そういうことで実際はいじではなかったということで、報告と認知の件数の違いがあるのは、そういう状況ということで、覚えておいていただければと思います。

4番、いじめの現在の状況ということで、小学校で約半数が、中学校で約6割が解消済みとなります。

それから、6番に飛びますが、認知のきっかけということで、ここだけ数値が入っていないわけですが、これは記述式を整理した結果ということで、こういうような内容が多かったということで、記載の多い順になっている上のほうから並べる形で、数値が入ってはおりません。

それから最後に昨年度も3学期の体罰に関する調査報告については、小、中ともゼロではありました。

それで、今日の説明の中でも、昨年度との比較の話がありますが、表を見て、昨年度と少し比較ができるように、次回から表をつくりかえたいと考えております。

報告は以上です。

嘉瀬教育長

ありがとうございます。今の、いじめ・体罰の実態調査について、ご質問等ございますか。

小野崎委員

ホームページの話で、毎回聞いているんですけど、このごろの状況はどうでしょうか。

学校教育課長 ホームページでの、いじめメールの投稿状況でよろしいでしょうか。

小野崎委員 いじめメールの件数はどうですか。4月からありましたか。

学校教育課長 担当者が毎日チェックしておりますが、現在のところはありません。

小野崎委員 そうですか。わかりました。ありがとうございます。

高柳委員 質問ではないのですが、8番に、いじめられた児童生徒への対応というのがあります。そこで、学級担任や他の職員が状況を聞いたということが一番多く挙げられていますけれども、この時間になるたけとれるようにできるといいとも思っています。問題の解決は学級担任が一番で、ほかの人ではよくわからない、だからなにかあった時点で、担任がよく聞いて、判断をする時間があれば、いじめは少なくなると感じています。辛うじて一番多くなっていますけれども、この辺、時間がさらにとれるようにしてほしいです。そのために担任負担軽減を願っています。

学校教育課長 ありがとうございます。

嘉瀬教育長 ほかはどうですか。

なければ、私から。中学校のいじめが2倍になっているという今の報告でしたけれども、このいじめに関するとらえ方が変更になって、一時、数字が増えましたよね。去年あたりでしたか。そのときには、増えた理由がそういうことだったんですけれども、今回はそういうことではなくて、実質的にいじめが倍に増えていると考えていいのでしょうか。

学校教育課長 今、教育長から質問のあった、以前は捉え方の違いで増えたという状況ですが、今回の場合は、実質、いじめを受けたという部分でありますので、去年の捉えと同じ捉えでも増えたということでもありますので、件数として増えているという状況です。

嘉瀬教育長 倍になっているということですよ。そのいじめを防止する対

応というのは、ずっとやってきているわけですので、そういう状況の中で倍に増えているというのは、今とっている対策が有効に機能していないというにもとらえられるので、この辺のところをもう一度、せっかくいろいろな対応をとっているのに、十分に、減っていく方向で出てこないといけないと思いますので、また精査をしていただきたいと思います。

そのほか、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○報告第4号

嘉瀬教育長

報告第4号「山武市中学生軟式野球国際親善交流会について」
学校教育課指導室長から、報告願います。

指導室長

資料の29ページになります。8月4日、5日の2日間にわたり柏市に遠征に来ていた台湾のチーム名ですが、漢字では「鶴聲(かくせい)」と読んだほうがいいんですが、そのままだと、ハーセン(HURSEN)の中学校の野球チームを招いて、成東総合運動公園の野球場で、山武市の中学生チームと交流試合ということで、行いました。初日は市内の5校の中学校を2つに分けて、3チーム、こちら山武市で2チーム、それから向こうのチームで、合わせて3チームの総当たり。それから2日目は、山武市選抜のチームとの試合を行いました。試合結果につきましては、資料のとおりで、2日目は山武選抜が非常によく頑張りました。

報告は以上です。

嘉瀬教育長

ありがとうございます。この交流試合について、聞いてみたいことはありますか。

私も行きましたけれども、体の大きさが全然違うんですね。台湾は9月から新学期ということで、9月になると、15歳になる子どもたちは、まだ現役で残っていると。だから、特に今、日本につきましては、3年生が抜けた状態ですので。それでも全然、大人と子どもという感じでした。

小野崎委員

でも、いいことですね。いろいろやってみるっていうことですから、対外試合は。対外交流とかやってみたほうがいいですよ。刺激になりますよ。

嘉瀬教育長 そのほかよろしいですか。

(「はい」の声あり)

○報告第5号

嘉瀬教育長 報告第5号「山武市青少年スリランカ派遣団報告について」教育部長から、報告願います。

教育部長 資料の31ページからになります。本日、資料を机上に配付させていただいたのですが、その中の行程マップという別冊の資料になっています。スリランカ、インドの南にくっついているようなスリランカですが、北海道の8倍程度の大きさです。この1番から1、2、3、4、5という形でぐるっと周回してきたような形です。写真をご覧いただければと思います。

まず32ページについて説明させていただきます。2日目の様子です。2日目の25日ですが、スリランカの都心部にあるマハナマ男子校というところに行ってきました。ここの学校ですけど、生徒数が5,000人を超えるようなマンモス校で、非常に進学率の高い、優秀な子どもたちが集まっている学校です。マハナマ男子校では、現地の学生と折り紙やクリケットの大会等をして、交流を深めました。また、伝統的なダンスの披露ということで、ソーラン節を披露して、拍手喝采を受けたところです。

JICAの事務所や在スリランカ日本大使館では、それぞれの業務についてお話を聞いたところですが、将来自分が海外で働くことを希望している生徒もありました。具体的にどういう活動、職業につきたいかというイメージを持って参加している人が多かったことから、具体的なイメージを持って、非常にいい研修だったのかと思っています。

次が3日目です。32ページの下段ですが、7月26日の分です。教育省やオリンピック委員会、スポーツ省等を訪問しています。JICAのバドミントン普及隊員の活動見学もしています。本日の新聞記事でJICAの隊員が、いろんなオリンピック関係の子どもたち、柔道とか、そういうものの育成に当たっているというのが載っていましたが、実際そういう活動をして、ここでやっているのは、アジアユースの代表の子どもたちと試合をさせました。また、教育省オリンピック委員会スポーツ省では、一国の大臣に直接子どもたちが英語で質問したりあいさつをする経験もさ

せています。

また27日ですが、4日目、ここからがコロomboを離れて地方のほうに行く行程になります。象の孤児院の見学や、日本企業で進出しています、Noritakeという陶器、高いお皿のブランドがあるんですが、その工場がスリランカにあります。そこで実際マグカップの絵付け等の体験をしています。ラインも止めていただいて、オリジナルのカップをつくって、帰りにそれを持ち帰るという形です。

28日はシーギリヤロック、この岩山に登っています。その午後、シーギリヤセントラルカレッジ、田舎のほうの学校を訪問しました。都市部と違って、非常に厳しい環境で、素朴な環境と言ったらいいんですかね、もう、黒板も机もぼろぼろの状態で、子どもたちは非常に驚いていました。自分たちの環境がいかに恵まれているかというのを実感したと思います。

29日、今度はJICAの幼児教育の体験活動やアヌラーダブラ等の見学をしています。幼児教育の隊員の活動視察では、海外で働くことの苦労やスリランカの幼児教育をどのように進めていくか等のお話を聞いています。実際、JICAに入りたいという子どももいましたので、将来的には役に立つのかなと思っています。

7月30日ですが、オリンピック選手であるスリヤーニ女史のお宅でホームステイをさせてもらいました。地元の衣装であるサリー一等を着させてもらっているところです。

最終日が、SNECCというところで、スリランカ日本教育文化センターというところで、地元の子どもたちと会って交流したりとかもやって、日曜学校だったので、300人ぐらいの子どもたちが集まった中で、いろんな交流等をやっています。

報告は以上です。

五木田委員

治安の状況はどうでしたか。

教育部長

治安は、もちろん心配していたんですが、実際はいずれも問題はなかったです。帰ってきたとき、出発式のときに市長が市の使節団として立派にやってこいという話をしたんですが、文字どおり、十分、向こうのうけも非常によく、いい研修だったと思います。

小野崎委員

マハナマ男子校は5,000人ということですが、全寮ですか。

教育部長 寮だけではなく、都市部で通いの生徒が多い学校です。1つの学校が非常に大きなところで、ここの校長先生は7,000人の学校から来たって言っていて、ここの校長先生が、終わったら文科省に戻るのか、そういう指定校みたいな形になって、文科省の直属の中学校のようです。学校の前にはスクールバスがずらっと並んでいて、結構遠くからも来ているみたいでした。昔の日本の受験戦争みたいな形で、学校が終わると、そのまま皆、塾に行くということでした。

今関委員 田舎の小学校は、どのぐらいの人数だったんですか。

教育部長 それこそ、うちの小学校よりも小さかったです。

今関委員 格差があるんですね。

教育部長 田舎なので、それこそバラックみたいな家もたくさんあるんですね。子どもたちも相当ショックだったようです。はだしの人たちもいましたし、いい経験になったのではと思います。

嘉瀬教育長 よろしいですか。今回のスリランカ派遣団、中学校1年生から高校3年生まで、幅広く行った中で、教育部長の報告にもあったように、教育省とかオリンピック委員会とか、スポーツ省の大臣クラスの人と対面して、英語でスピーチするとか、かなり厳しくやったみたいで、それがあったせいか、子どもたちもほんとに帰国式で涙を流しながら報告したりするぐらい、彼らにとっては大きな体験、いい体験だったなと感じているところでございます。ありがとうございました。

嘉瀬教育長 それでは、ここで休憩をとりたいと思います。

休憩 午後3時15分から午後3時25分

○報告第6号

嘉瀬教育長 それでは再開をしたいと思います。報告第6号「海外研修生受入事業について」生涯学習課長から、報告願います。

生涯学習課長

報告第6号、海外研修生受入事業についてということで、昨日8月16日火曜日でございますが、市内中学校2年生から高校3年生18名の研修生がニュージーランドに向かいました。こちらの事業は逆に、ニュージーランドの研修先であります、パ克蘭ガ中学校の生徒を受け入れる事業になります。

受け入れ期間でございますが、28年9月24日土曜日の夕方から、9月28日水曜日の朝までとなります。

募集家庭でございますが、今年度は山武市立成東中学校、成東東中学校、松尾中学校、蓮沼中学校に通う生徒のご家庭にご依頼をかけました。

募集期間でございますが、28年6月20日月曜日から、7月8日まで募集をかけました。

募集の結果でございますが、成東中学校が2家庭、成東東中学校から5家庭、松尾中学校から2家庭、蓮沼中学校から4家庭、計13家庭の募集結果となりました。

受け入れ家庭の決定でございますが、8月2日にニュージーランドから連絡がありまして、当初12名の募集予定だったんですが、男子が1名欠席ということで、11名となりました。内訳は、男子が4名に女子が7名、計11名の受け入れとなりまして、受け入れの家庭でございますが、成東中学校が2家庭、成東東中学校が4家庭、予備に1家庭ございまして、あと、松尾中学校が2家庭、蓮沼中学校が3家庭、予備に1家庭という形になりました。

以後の予定でございますが、9月1日に受け入れ家庭を対象に事前の説明会を開催いたします。ホームステイのスケジュールと、あと、ニュージーランドの文化等について、受け入れ家庭についての説明会を行いまして、9月24日には対面式、ウェルカムパーティーを行い、ホームステイは24日土曜日午後6時30分から。そして、9月28日水曜日、午前7時30分に山武市役所前で解散、ホームステイの終了となります。

以上でございます。

嘉瀬教育長

ありがとうございます。

ニュージーランドからの受け入れについてですが、何かご質問等ありますでしょうか。よろしいですか。

小野崎委員

引率の先生3名と書いてありますが、このときに私たちは参加しますか。

嘉瀬教育長 ウェルカムパーティーがあるので、そのとき、委員さんたちは出てたような話でした。

生涯学習課長 そうですか。すみません、ご参加いただけるようにご通知いたします。申し訳ございません。

小野崎委員 24日ですか。

生涯学習課長 はい。24日の土曜日です。

嘉瀬教育長 では、24日のウェルカムパーティーには、ぜひ委員の皆さんもご出席をいただきたいと思います。

生涯学習課長 よろしくお願ひします。

嘉瀬教育長 ほかには。よろしいですか。

五木田委員 受け入れの家庭には若干の補助というものはあるんですか。

生涯学習課長 1万円の補助があります。

五木田委員 1家庭ですか。

生涯学習課長 お1人ですね。2人入れますと2万円ということになります。

五木田委員 わかりました。

嘉瀬教育長 ホームステイするのは何泊でしたか。

生涯学習課長 ホームステイは4泊5日になります。

嘉瀬教育長 4泊5日。4泊すると、結構ね、ご家族の方にも負担になりますね。

今関委員 この間って学校に行ったりするんですか。

生涯学習課長 はい。

嘉瀬教育長 そのほかよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○報告第7号

嘉瀬教育長 報告第7号「第10回山武市民体育祭について」スポーツ振興課長から、報告願います。

スポーツ振興課長 報告第7号、第10回山武市民体育祭についてです。資料は37ページから41ページでございます。概要だけ報告したいと思います。体育祭の内容につきましては、例年との変更等は、今年につきましてはございません。

開催期日です。平成28年10月9日日曜日です。雨天等で実施できない場合については中止と考えております。それから中止の場合です。午前6時10分に防災行政無線でお知らせをする予定でございます。

会場です。松尾運動公園陸上競技場です。

それから日程ですが、まず開催の判断です。午前6時に判断をさせていただきます。こちらは体育協会の役員さんと打ち合わせの上、決定という形でございます。それから、役員集合が午前7時30分。開会式が午前8時30分。競技開始が午前9時15分です。閉会式が午後3時10分という形でございます。

競技種目ですが、39ページにプログラムを載せてございます。こちらをご確認いただければと思っております。

競技方法ですが、13支部（小学校区）の対抗戦という形でございます。出場チーム数については、各支部1チーム。それから、詳細については別に定めております。40ページ、41ページをご覧ください。

簡単ではございますが、以上となります。

○報告第8号

嘉瀬教育長 報告第8号「第11回さんむロードレース大会について」スポーツ振興課長から、報告願います。

スポーツ振興課長 報告第8号、第11回さんむロードレース大会についてです。こちらにつきましては、現在までの参加申し込み人数という形でまとめてございます。申し込み期間が7月1日から9月23日までで、

現在も申し込み受け付け中ということでございます。

種目は、10キロ、5キロ、中学生、小学生、なぎさRUN（ペア）という形の5つに分かれてございます。

まず10キロですが、11回大会のほうです。8月10日現在でまとめさせていただいております。合計で407名です。昨年度が487名。前年比でマイナス80名という形です。

それから5キロです。第11回のほうが86名。昨年度、第10回のほうが90名。前年比マイナス4名という形です。

それから中学生です。11回、今年度のほうが41名。昨年度10回が71名。対比でマイナス30名です。

それから小学生です。第11回、今年度は170名です。昨年度10回が153名。前年比プラス17名です。

それから、なぎさRUN（ペア）です。こちらは今年度が11名。昨年度が6名。プラス5名という形です。

合計で、11回のほうが715名。それから10回のほうは807名。対比がマイナス92名という形の現在までの集計でございました。

以上でございます。

嘉瀬教育長 ありがとうございます。ただいま報告がございましたが、何かありますでしょうか。

五木田委員 なぎさRUN（ペア）という、これはどういう種目ですか。

スポーツ振興課長 親子で手をつないで、海岸を一緒に走っていただくという種目になります。

五木田委員 なるほど。海岸を走るんですね。わかりました。

嘉瀬教育長 これは9月23日まで申し込みということですがけれども、昨年と比べてマイナス92ですが、今後伸びる可能性はあるんですか。

スポーツ振興課長 多少申し込みがありますので、それを期待をしながらという形でございます。

嘉瀬教育長 そのほかよろしいでしょうか。このロードレースのほうも、委員の皆さんには、出席いただいて見ていただきたいと思います。

○報告第9号

嘉瀬教育長 報告第9号「トップアスリートスポーツ教室について」スポーツ振興課長から、報告願います。

スポーツ振興課長 報告第9号、トップアスリートスポーツ教室についてです。資料の43ページから45ページになります。

まず、事業名ですが、トップアスリートスポーツ教室です。こちらは2部構成になってございまして、「U-15日伯国際交流サッカー大会」、それと「サッカー教室」、2つのプログラムという形でございます。

開催しました日時と場所です。まず、サッカー大会のほうですが、7月27日水曜日から7月29日金曜日まで。場所が高円宮殿下記念スポーツパーク、これは城西国際大学サッカー場をお借りして開催いたしました。

サッカー教室のほうですが、7月30日土曜日です。1部が小学生、2部が中学生というくくりです。1部が10時から11時、2部が11時から12時。場所がさんぶの森ふれあい公園多目的広場という形でございます。

内容ですが、サッカー大会のほうは、山武市選抜チーム、それからブラジル国内のクラブチーム、そのほか、関東強豪4チームを招待し、6チームによるリーグ戦を行いました。

サッカー教室のほうですが、まずは小学4年生以上、それから中学生の2部に分けて、ブラジル人のコーチ、それからブラジル人の選手、こちらの協力を得まして、サッカーの教室を行ったという形でございます。

参加者ですが、サッカー大会のほうは、まずは山武市の選抜です。こちらは中学生の選抜です。それからオペラリオ、これはブラジルのチームという形です。それとY.S.C.C、こちらは神奈川県横浜市のチームです。それからFCアビリスタ、こちらは埼玉県川口市です。それとアルティスタ、こちらは地元、東金です。それから柏レイソルAA長生です。こちらは長生郡白子町でございます。

サッカー教室のほうは、1部が小学4年生以上で44名の参加をいただいております。2部の中学生が65名の参加をいただいております。

この事業の中で課題としまして、ブラジルのクラブチームの来

日の決定まで相当時間を要しておりました。大会参加チームへの声かけなどがかなりおくれたということもございまして、来年度以降継続する場合には、もう今年度中から、ある程度ブラジルチームとお話をして、来れる、来れないというところをやっていたら、今回、大会をやるにしても、ギャラリーといえますか、見学者のほうの周知が全然できなかった状況ですので、決定をしたら、そちらのほうもどんどん周知をしていきたいと考えてございます。

44ページにつきましては、写真を少し載せてございます。これはサッカー大会のものです。開会式です。当日は雨でした。城西国際大学のご厚意で、講堂をお借りすることができました。これは城西国際大学の講堂です。上の2枚がそうになっています。それから、始球式は市長にお願いをしたという状況でございます。下の6枚については、大会の状況。黒い、このチームがブラジルのチームです。上から3つ目のところで、青いユニフォームを着ているのが山武市の選抜チームです。

次のページ、45ページですが、サッカー教室のほうです。上の4枚について、小学生の部という形で、サッカーのコーチングを受けているところを写真におさめています。下の4枚につきましては中学生です。最後に記念撮影を撮ったり、交流試合をしたり、小学生も中学生もボールにサインをもらったり、名前を書いてももらったり、交流がかなり図られたのではなかろうかと。

この教室が終わった後に、中学生を対象に、さんぶの森のバーベキュー会場で、ブラジルの選手と交流会という形でバーベキューを行ったという状況でございます。

簡単ですが、以上になります。

嘉瀬教育長

ありがとうございました。トップアスリートスポーツ教室について、何か聞きたいことがございますか。よろしいですか。

(「はい」の声あり)

○報告第10号

嘉瀬教育長

報告第10号「平成28年度山武市こども園・幼稚園職員等研修事業について」子育て支援課主幹から、報告願います。

子育て支援課主幹

それでは、幼稚園、こども園の今年度の研修事業について報告

いたします。46ページをご覧ください。

質の高い教育、保育の提供のために、保育士の資質、力量の向上を図る研修を市主催で今年度も継続して実施しております。今年度は、研修担当者で組織する、幼稚園、こども園の研修部員とともに研修計画を策定しました。昨年度は講義型中心の研修でしたが、今年度は実技研修、視察研修を柱にして事業計画を立てました。

参加申し込み者につきましては、右側の数字、各園ごとの参加者報告数を受けております。

既に、これまで幾つかの研修が実施されていますが、研修の事後アンケートによりますと、参加者のほとんどは、大変参考になった、早速実践に生かしたい、自分自身の力量向上に役立ったと答えている状況です。

また、ちびっこ国際交流事業の一環で、保育士の英語研修を今年度8月2日に実施しておりますが、これをやってみて、小学校低学年、一、二年生の担任の先生がこういった研修に参加するのもいいのではないかなということを感じましたので、次年度は小学校にも案内を出していきたいなと思っております。

また、7月26日、富津市にある和光保育園の視察研修については、私を含め、参加者全員が大きな衝撃を受けた視察となりました。園児がみずから考え、判断して行動するという姿が当たり前のように展開されていて、先生方の姿がどこにあるのかなというような形で、先生方の声がほとんど聞こえてこない。そういう中で、子どもたちは自分で給食もよそって食べて、また遊び込む姿、そういったものを目の当たりにして大きな衝撃を受けました。

同じように、8月6日の全体研修会では、講師の先生が和光保育園のことをよくご存じで、やっぱり和光保育園を取り上げながら、先生方123名が参加した保育士の研修に講話のほうをいただいたところでした。とにかく山武市のこども園も、保育士の先生方がかかわり過ぎない、そういうことを、みんな共通理解した研修になっています。

さらにまた、山武市においても、こども園でも、5歳児については、当たり前のように今お昼寝をやっていきますけれども、もう昼寝は選択性にしていいじゃないかと、そんなことで、今、園長とともにお話を進めているところです。教育要領においても、5歳児でお昼寝というのは、もう位置づいておりませんので、そのところを少し改善を図っていきたいなというような思いでい

ます。

以上でございます。

嘉瀬教育長 ありがとうございます。園の先生方も、非常にたくさんの研修で大変だと思うんですけども、十分役に立っているようなので、よりよい保育環境のためにやっていただきたいと思います。

○報告第11号

嘉瀬教育長 報告第11号「行事の共催・後援について」教育総務課長から、報告願います。

教育総務課長 報告第11号、行事の共催・後援についてご報告いたします。資料の47ページをご覧ください。

7月1日から7月31日までの行事の共催・後援についてでございます。行事の共催は1件でした。行事の後援は3件でございます。それぞれの資料につきましては、48ページから52ページまでに添付してございますので、ご確認をよろしくお願いいたします。

なお、申請につきまして、いずれも基準のとおりと判断いたしました。承認をいたしてございます。

報告は以上です。

○報告第12号

嘉瀬教育長 報告第12号「9月の行事予定について」各所属長から、報告願います。

※出席した各所属長から9月の行事予定について報告。

○その他

嘉瀬教育長 それでは、その他に報告すべき事項はありますでしょうか。特
にありませんか。

五木田委員 質問してもよろしいでしょうか。

嘉瀬教育長 はい、どうぞ。

五木田委員 行事予定の報告で学校教育課長から、異文化理解講座というの
がありました。対象は子どもですか。

学校教育課長 子どもたちが対象です。小学校については低学年と高学年に分かれて実施、中学生は1年生から3年生まで一緒ですが、それぞれ1時間、小学校は45分、中学校は50分を予定しております。子どもたちが対象でございます。

五木田委員 わかりました。

嘉瀬教育長 ほかにありますか、よろしいですか。

高柳委員 今回の関連で、講師はどのような方でしょうか。

学校教育課長 それぞれ異文化ですので、いろいろな国の方々に来ていただいて、5人から6人ぐらい、さまざまな国の方が来て、その国の文化ですとか、日本との違いだとか、そういったことでお話をいただいておりますが、お話だけではなくて、ゲームなども通して行うというようなことで計画しております。もう既に何校か実施しており、子どもたちも大変興味、関心が高かったという報告を受けています。

高柳委員 国内にいる、いろいろな国の人たちですか。

学校教育課長 実は、ALTを派遣しております委託業者のほうにお願いをしまして、実施しております。

嘉瀬教育長 よろしいでしょうか。
その他、報告はよろしいですか。

指導室長 教育委員会ジャーナルについて報告させていただきます。

1番の、夏季休業中の教職員の会議、研修ということで、主に、まとめてあります①から⑩までということで、まだ、これから予定のところも残っております。

それから、(2)につきましては、もう報告済みということで省略いたします。

2番の学校情報の中で、3番目に不審メールということで、ここに書いてあります宅配便受け取り指定云々というパターンもあれば、幾つかこれ以外にも実際、取りまとめた後に出てきまして、

ここには2件ということでしたが、それ以外に、きのう、今日で連絡があったのが、あと3件ということで、今、市内で5校ほど不審メールが届いていると。その前に、やはり東上総教育事務所から注意喚起のファクス、これは各学校のほうに配付済みであります、山武市に限った事案ではないということで、この近隣で起きているということで、各学校には不審なメールはあけないようにということで注意しているところであります。

最後、研修・情報関係で、先ほど報告がありましたニュージールランド研修、今回、成東中の金親教頭が団長ということで、きのうから1週間ということで出発して、中学生もたくさん参加しているということで、いい取りまとめ役かなと思っております。

私のほうからは以上です。

五木田委員 質問ですけれども、2の学校情報の施設の不具合で、煙感知器の誤作動というのは、煙感知器は点検していますよね。

指導室長 やはり、かなり経年の劣化等ということで、施設のほうでいろいろ、今、点検とか、業者等も考えていただいているということで、実際のところ、緑海小、それから蓮沼小の2カ所になります。

小野崎委員 1つ、お願いがあります。

嘉瀬教育長 どうぞ。

小野崎委員 注意喚起。夏休みが終わるといろいろありますので、9月のスタート時期に、不登校などのチェックだけは必ずしてほしいなと思います。

指導室長 児童・生徒の、要するに、始業式での出席状況ですね。

小野崎委員 そうですね、始業式での出席状況をきっちり確認したほうがいいと思います。

学校教育課長 事前に2学期が始まりますということで、子どもたちへの周知・喚起をお願いしますということで、各学校に連絡はさせていただいております。

小野崎委員 よろしくお願ひいたします。

嘉瀬教育長 あとはよろしいですか。

(「はい」の声あり)

嘉瀬教育長 それでは、ほかに報告すべき事項がないということでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

嘉瀬教育長 それでは、以上で、本定例会の公開案件は全て終了いたしました。

ここからは、非公開案件のため、秘密会とさせていただきます。傍聴人の方に申し上げます。会議開催当初にお諮りして決定したとおり、これからは秘密会となりますので、山武市教育委員会会議傍聴規則第5条の規定により、傍聴人の方はご退席くださるよう、お願ひいたします。

ここで暫時休憩といたします。

嘉瀬教育長 それではここから、秘密会として会議を再開いたします。

○議案第1号

(議案第1号は、秘密会につき概要と結果のみ記載)

嘉瀬教育長 議案第1号「市議会定例会提出議案(平成28年度山武市一般会計補正予算(第3号))に同意することについて」を議題とします。補正予算要求部署の所属長から説明をお願いします。

※資料に基づき、補正予算要求部署(学校教育課、松尾公民館)から、補正予算の要求内容について説明。

※審議結果 原案のとおり同意。

○協議第1号

(協議第1号は、秘密会につき概要と結果のみ記載)

嘉瀬教育長 協議第1号「要保護及び準要保護児童生徒の認定について」を議題とします。学校教育課指導室長から説明をお願いします。

指導室長 資料に基づき、新規申請分（4世帯5名）について説明。

※審査結果 新規4世帯5名について認定。

○報告第1号

（報告第1号は、秘密会につき概要のみ記載）

嘉瀬教育長 報告第1号「千葉県教育功労者表彰の推薦について」学校教育課長から、報告願います。

学校教育課長 資料に基づき、推薦する表彰候補者4名について報告。

嘉瀬教育長 それでは、これで秘密会を解きます。

嘉瀬教育長 以上をもちまして、教育委員会第8回の定例会を終了といたします。
お疲れさまでございました。

◎閉会 午後4時18分